

夏期
集中

(全4コマ) 教職員のための多文化共生講座

浜松市には、多様な文化を背景を持つ子ども達が学校に通っています。彼らとのコミュニケーションの難しさは、体験された先生方にしか分からないと思います。子ども達も先生方も、お互いに自分の気持ちを伝えたり、理解し合ったりしたいと思いつつも、どこかもどかしさを感じることもあるのではないのでしょうか。

本講座では、外国にルーツを持つ子ども達が持つ可能性をともに考えたり、多文化教育に関するワークショップを体験したりするほか、専門家から母語と継承語について学び、多様な学校現場で何が出来るかを考えます。

日時： 第1,2,3回 2023年8月2日（水）9:15～12:15

第4回 2023年8月29日（火）13:30～16:30



カリキュラム

	1 時 限 目	2 時 限 目	3 時 限 目	4 時 限 目
	8月2日（水）			8月29日（火）
時 間	9:15～9:45	9:55～10:55	11:05～12:15	13:30～16:30
会 場	浜松市外国人学習支援センター（U-ToC） 西区雄踏町宇布見 9611-1			浜松市教育センター 北区東三方町 143-4
講 座	外国人学校（ムンド・デ・アレグリア学校）の見学	次世代へつなぐ思い～ブラジル移民劇を通して～	「ひょうたん島問題」から多文化共生を考える	子どものことば～母語・継承語の大切さを知り、現場へ活かす～
講 師	松本 雅美氏 ムンド・デ・アレグリア学校 校長	柳澤 クリスチーナ氏 セメンチーニャ（ブラジル人ママの会）代表	河口 美緒 公益財団法人浜松国際交流協会（HICE）	鈴木 崇夫氏 愛知淑徳大学 初年次教育部門 助教
内 容	外国人学校を見学し、日本の学校との共通点や相違点を学びます。	日系ブラジル人として来日し、浜松で子育てを経験した講師のライフストーリーと移民劇の活動から、外国にルーツを持つ子ども達の未来を考えます。	多文化教育を理解するのに最もわかりやすい教材「ひょうたん島問題」のワークショップを行い、多文化共生への理解を深めます。	外国にルーツを持つ子ども達の母語・継承語について理解を深め、学校現場においてできることについて一緒に考えます。

対 象：保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教職員

定 員：20人（先着順）

費 用：無料

申 込：裏面の申込書にご記入の上、Fax（592-1179）してください

その他：この講座は4コマで1コースです。全コマ受講できる方を優先させていただきます。

問い合わせ（主催）：

浜松市外国人学習支援センター（U-ToC・ユートック）

浜松市西区雄踏町宇布見 9611-1（雄踏中学校西側・旧雄踏町役場）Tel.053-592-1117

FAX. 053-592-1179

夏期集中・教職員のための多文化共生講座 申込書

日時	①②③8月2日(水) 9:15~12:15、④8月29日(火) 13:30~16:30
ふりがな	
氏名	
所属(学校名)	
住所(学校)	〒
電話番号(学校)	
緊急連絡先 (携帯電話番号等)	
外国人児童生徒担当 経験年数	() 学校で () 年間 () 学校で () 年間

・外国人児童生徒・保護者への対応で難しいと思う事は何ですか？

・外国人児童生徒・保護者とコミュニケーションをとるときに何か工夫をしていることはありますか？

問合せ先：

浜松市外国人学習支援センター
(U-ToC・ユートック)

〒431-0102

浜松市西区雄踏町宇布見 9611-1

(雄踏中学校西側・駐車場あり)

Tel. 053-592-1117

Fax. 053-592-1179

